

令和3年度東御市公共交通活性化協議会事業報告について

1 東御市公共交通活性化協議会の開催

	日時・期間	場所	協議内容	出席 委員数
第1回	令和3年6月24日(木) 午前10時～	市役所 全員協議会室	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱及び役員選出 ・地域公共交通計画の概要 ・地域公共交通の現状と課題について ・令和3年度活性化協議会事業計画(案)及び予算(案)の承認について ・今後のスケジュールについて 	31名
第2回 (書面協議)	令和3年9月14日(水) ～9月27日(月)	—	アンケート調査の内容について	—
第3回	令和3年12月16日(木) 午前10時～	市役所 全員協議会室	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析結果について ・アンケート調査結果について ・実証実験について ・今後のスケジュールの変更について ・地区懇談会の開催について 	26名
第4回 (書面協議)	令和4年2月18日(金) ～3月4日(金)	—	令和3年度事業計画の変更について	—
第5回	令和4年3月30日(水) 午前10時～	市役所 全員協議会室	<ul style="list-style-type: none"> ・意見募集の結果について ・AI活用型オンデマンド交通運行シミュレーションの結果について ・令和3年度活性化協議会事業報告及び決算見込みについて ・令和4年度活性化協議会事業計画(案)及び予算(案)の承認について ・今後のスケジュールについて 	

2 計画策定に必要な情報の整理(コンサル委託)

東御市地域公共交通計画の策定の基礎資料等を、委託により整備を図りました。

- (1) 事業委託先 東日本総合計画(株)
- (2) 事業費 5,962,000円
- (3) 委託期間 令和3年7月27日～令和4年3月31日

(4) 実施実績 詳細は参考資料 No. 2 のとおり

ア 地域特性の把握	地勢、社会情勢とともに、人口・世帯状況（推移・分布）、公共施設、商業・工業施設、観光施設や観光資源の分布等の基礎情報の整理
イ 公共交通現状分析	鉄道、路線バス、タクシー、東御市交通システム（定時定路線バス及びデマンド交通とうみレッツ号）の運行状況、令和2年度実施の東御市公共交通実証実験の運行状況及び利用状況の整理等
ウ まちづくりの方向性	市上位関連計画の方向性、公共交通施策等の考え方について整理し、地域活性化事業、交通弱者への移動支援等の考え方、観光振興施策等について整理
エ 移動ニーズの把握	市民の日常における移動の実態や公共交通に対する要望、ニーズ等の把握をするため、アンケート調査の実施及び分析
オ 地域公共交通の課題の整理	(ア) 公共交通の役割、位置づけの明確化 (イ) 市民の移動状況、意向等から東御市における公共交通の問題点・課題の整理 (ウ) 将来の都市構成のイメージと現状の公共交通網を比較し、その整合性からの課題整理

3 信州大学との共同研究による勉強会の開催

公共交通に関する各地の状況や、自動運転や「MaaS」と呼ばれる次世代の新しい交通に関する技術を知って、東御市の公共交通のあり方や方向性を考える「地域公共交通と次世代モビリティシステムを学ぶ勉強会」を開催しました。

- (1) 参加者 中学生以上で、東御市内にお住まいの方 または 東御市内に在勤・在学される方
- (2) 事業費 300,000 円
- (3) 実施実績 詳細は参考資料 No. 3 のとおり

	開催日	時間	参加者数	場所	テーマ
第1回	7月30日(金)	14時～ 15時30分	16名	勤労者会館 2階大会議室	交通の現在を知ろう
		18時30分 ～20時	11名		
第2回	8月11日(水)	14時～ 15時30分	10名	オンライン	MaaS アプリを使ってみよう
第3回	9月12日(日)	18時30分 ～20時	7名	オンライン	私たちがほしい移動を考えよう
	9月15日(水)	14時～ 15時30分	14名	オンライン	
第4回	10月9日(土) ～10日(日)	10時～ 16時	アンケート 回答 443人	芸術むら 公園周辺	これからの交通を体験してみよう ～次世代モビリティ乗車体験会
第5回	12月24日(金)	10時～ 15時	17名	塩尻市	先進地視察『のるーと塩尻』乗車 体験

※第6回として報告会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、別添参考資料 No. 3の報告書を作成し、参加者へ配布及び市ホームページへの掲載に代えさせていただきます。

4 公共交通に関する意見募集の実施

市の公共交通の現状分析と公共交通に関するアンケート調査の結果から見えてきた移動実態や移動に関する課題と、今後の市の公共交通の方向性について、市民の皆さまからご意見をお聴きする地区ごとの懇談会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市のパブリックコメントの手法に準じた形による意見募集としました。

意見の募集期間	令和4年2月7日（月）～3月8日（火）
意見の受付方法	電子メール、ファックス、郵送、担当窓口へ直接
意見の周知場所	市報とうみ、市ホームページ、市役所本館、北御牧庁舎、総合福祉センター、中央公民館、市民ラウンジ、滋野コミュニティーセンター、祢津公民館、和コミュニティーセンター
結果の公表場所	同上
提出状況	(1) 提出者数 8人 (2) 提出意見数 26件
提出されたご意見の要旨	<p>(1) デマンド交通関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者だけでなく幅広い利用者(学生、妊婦、観光客)の獲得 ・学校の授業を活用した利用方法の周知 ・(AIを導入する場合)高齢者に対するスマホ講習会の実施 ・運行に対する変更の提案要望 <p>(2) 送迎や通学関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時定路線バスの運行経路の検討 ・利用者のターゲットを絞った契約制バスの運行提案 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する地区懇談会等の開催 ・企業や市民からの協力金などによる運行資金の確保 ・タクシーチケットの配布 ・移動に困っている方への施策の充実 ・アンケート結果から利用傾向の分析の提案 ・既存システムの改善ではないゼロベースの交通網検討の提案 ・見やすい図表の提示 など

5 公共交通実証実験等の実施

(1) 湯の丸高原タクシー補助事業

田中駅または滋野駅からタクシーを利用して、湯の丸高原へ向かう観光客をターゲットに、タクシー料金の補助を行い、移動手段の確保とタクシーを活用した観光二次交通の可能性を検証しました。

- ア 事業委託先 (一社) 信州とうみ観光協会
- イ 事業費 7,260 円※委託先への事務費等含む
- ウ 実施期間 令和3年10月9日（土）～3月31日（木）予定
- エ 実施実績

(ア) 実施方法

次の乗・降車地に該当する場合に、利用券を運転手に提出することで、運賃から補助額が値引きされます。利用者にはアンケートへの協力を依頼し、利用者の属性や今後の利用意向等を回答いただきました。

乗車地 または 降車地	降車地 または 乗車地	片道通常運賃 (概算)	補助額
田中駅 または 滋野駅	湯の丸高原ビジターセンター	7,000 円	2,000 円
田中駅 または 滋野駅	池の平駐車場	9,000 円	3,000 円

(イ) 利用件数 2件 (※3月23日現在)

内訳：田中駅→池の平駐車場1件、池の平駐車場→田中駅1件

(ウ) 考察

紅葉シーズンからスキーシーズンにかけて実施しましたが、利用が少ない結果となりました。利用された方以外にも数件問い合わせがありましたが、補助額を差し引いても片道運賃が5,000円～6,000円ほど掛かること、また、スキー客は荷物が多く、タクシーは利用しにくいことが要因と考えられます。

(2) eバイクによるレンタサイクル事業

田中駅におけるレンタサイクルにeバイクを試験的に導入し、東御市内の高低さがある地形と景観を楽しみながら移動していただくことで、観光客と市民の両者それぞれの利用動向と今後の事業拡大の可能性を検証しました。

ア 事業委託先 (一社) 信州とうみ観光協会

イ 事業費 598,400円

ウ 実施期間 令和3年10月18日(月)～11月30日(火)

エ 実施実績

(ア) 実施方法

自転車7台(うち電動アシスト付き2台)に加えて、クロスバイク型eバイク2台を導入し、買い物客や観光客に利用してもらいました。利用者にはアンケートへの協力を依頼し、利用者の属性や利用目的、満足度等を回答いただきました。

(イ) 利用人数 51人(1日平均1.34人)

(ウ) 考察

- ・利用者から高い満足度をいただいたことから、レンタサイクルは春から秋にかけての気候がよい時期の市内の移動手段として、一定の活用が見込まれます。
- ・軽快な乗り心地のeバイクの導入により、市内での移動範囲の拡大やレンタサイクルで景観そのものを楽しんでもらうことが観光資源の一つになることが期待されます。

(3) eバイクの拡充

(2)のレンタサイクル事業の結果を受け、レンタサイクルのシステム開発を検討しましたが、既存のシェアサイクルシステムを導入した方が合理的かつ広域的な活用が見込まれるとの結論に至りました。事業変更の書面協議により、システム開発を行う予定であった額をeバイク購入費とeバイクへのシェアサイクルシステム取付アタッチメント開発費に変更しました。

○支出先及び事業費

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| ・eバイク10台分 | 土屋商会 | 1,093,600円 |
| ・アタッチメント開発費 | ドコモ・バイクシェア | 627,000円 |

(4) AI活用型オンデマンド交通運行シミュレーション

AI活用型オンデマンド交通が当市の移動ニーズにどこまで対応でき、利便性の向上や運行の効率化に資するかを検証するため、とうみレッツ号の実際の利用データを基にしたAI運行シミュレーションを実施しました。

ア 委託事業者 ネクスト・モビリティ(株)

イ 事業費 1,650,000円

ウ 委託期間 令和4年2月24日～令和4年3月31日

エ 実施内容及び実績 協議事項(1)資料No.2のとおり